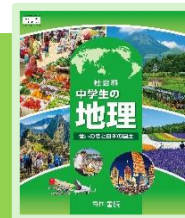


# 帝国書院『社会科 中学生の地理』 特色一覧

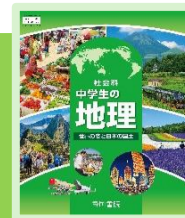
## ①教育基本法との対応



教育基本法第二条	特に意を用いた点や特色 ※(青字)は教科書のページ	内容解説資料での特色と掲載ページ
<p>全体</p>	<p>問いを軸にした単元構成の構造化によって、「主体的・対話的で深い学び」と「指導と評価の一体化」を実現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●章・節・各本文ページ冒頭には、学習内容を問い(「章・節の問い」「学習課題」)で示し、生徒自らが学習の見通しをもてるようにしている。章・節・各本文ページの末尾には課題(「学習を振り返ろう」「確認しよう」「説明しよう」)を設けている。問いには、協働的に学習する場面を設け、「主体的・対話的で深い学び」を実現できるようにしている。</li> <li>●学習活動では、3つの資質・能力を特に育成する場面を設けることで、学習を見取ることができ、3つの観点に基づいた「指導と評価の一体化」が実現できるようにしている。</li> </ul>	<p>おもに 特色3 p.29-40</p>
<p>第一号</p> <p>幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。</p>	<p>理解しやすい本文と興味・関心を高める写真や資料により、意欲的に学びに向かう態度を育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●第2部第2章「世界の諸地域」および第3部第3章「日本の諸地域」の各節の冒頭には、大判の写真から地域の様子をつかむ「写真で眺める」(全13か所)を設けている。(p.46-47、64-65、80-81、92-93、106-107、118-119、168-169、184-185、200-201、218-219、234-235、250-251、266-267) また、第3部第3章「日本の諸地域」の各節の冒頭には、イラスト地図から地域を概観する「とびら」(全7か所)を設け、生徒が興味・関心を高めて、意欲的に学びに向かえるようにしている。(p.167、183、199、217、233、249、265)</li> <li>●地域の姿や人々の営みを映し出す写真を厳選して掲載し、学びに向かう意欲を高められるようにしている。また、現地取材を行い、学習効果が高まる写真を追究している。(全編)</li> <li>●背景や因果関係まで丁寧に書かれた本文と、本文に関連する豊富な資料により、生徒の知的好奇心を高められるようにしている。(全編)</li> <li>●巻頭5「教科書を活用した学び方」や巻頭7「地理的分野の学習の全体像」を設け、教科書の基本的な流れや、各特設ページやコラムの学習上の位置づけを示し、生徒による自主的・自発的な学習活動を促している。(巻頭5、巻頭7)</li> </ul>	<p>おもに 特色1 p.5-12 特色2 p.13-28</p>
<p>第二号</p> <p>個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。</p>	<p>「地理的な見方・考え方」を働かせて思考力・判断力を養う活動を通じて、自主・自律の精神をもって創造に取り組む資質を育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●章・節の末尾の「学習を振り返ろう」では、「地理的な見方・考え方」を働かせることで、「章・節の問い」の解決に向けて多面的・多角的に考察できるようにしている。(p.13、25、42、62-63、78-79、88-89、104-105、116-117、126-127、165、180-181、196-197、212-213、230-231、246-247、262-263、278-279) また、地域の主題や中核考察に沿った写真や資料を選定し、協働的な学習を通して地域の姿をまとめる活動を取り入れるなど、自主・自律の精神を養えるようにしている。(全編)</li> <li>●各種写真・資料には、「資料活用」や「対話」を促すアイコンを適宜設けて、資料を読み解く着眼点をもとに考察したり、資料から生まれる問いにより対話したりできるようにしている。(「資料活用」アイコン:p.31、49、206など全53か所/「対話」アイコン:p.70、75、209など全51か所) また、「地図帳活用」を設けることで、地図帳の関連する内容から教科書での学習を深められるようにしている。(p.26、75、203など全56か所)</li> <li>●巻頭9「考えを整理する方法～思考ツールを活用しよう～」では、学習で有用な思考ツールを紹介している。(巻頭9) 特設ページ「アクティブ地理」の課題解決的な学習や「学習を振り返ろう」のまとめる活動などでは、「思考ツール」を活用することで、考えを整理したり、学習内容をまとめたりできるようにしている。(「思考ツール」アイコン:p.63、79、89、90、127、181、231、279)</li> <li>●学習に必要な技能を習得する「技能をみがく」を設けている。(p.12、44、133など全21か所)</li> <li>●インクルーシブ教育に配慮し、誰でも読みやすい書体(ユニバーサルデザインフォント)や色調を導入することで、さまざまな特性をもつ生徒の価値を尊重して、その能力を伸ばせるようにしている。(全編)</li> <li>●QRコンテンツを随所に設置することで、授業以外においても生徒が自主的に活用できるよう、配慮している。(巻頭6など全85か所)</li> </ul>	<p>おもに 特色3 p.29-40 特色5 p.45-48 および p.49-52 p.57-58</p>

# 帝国書院『社会科 中学生の地理』 特色一覧

## ①教育基本法との対応



教育基本法第二条	特に意を用いた点や特色 ※(青字)は教科書のページ	内容解説資料での特色と掲載ページ
<p>第三号</p> <p>正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<p>現代社会が直面する課題の解決に向けて構想する活動場面を設け、社会参画に向けた態度と資質を育成</p> <p>●地球的・地域的課題の解決に向けて構想する「アクティブ地理」を4か所設け、各種資料をもとにした生徒どうしの対話を通じて、「主体的・対話的で深い学び」を実現できるようにしている。現代社会が抱える課題に主体的に取り組むことで、日頃から社会の形成に参画する態度を育成できるようにしている。(p.90-91、150-151、214-215、281-282)</p> <p>●第4部第1章「地域のあり方」では、地域に見られる課題の分析と、その解決に向けた構想の手順を丁寧に説明し、生徒が自ら設定した対象地域で地域の課題解決に向けた提案ができるようにしている。(p.283-293)</p>	<p>おもに 特色3 p.29-40 特色4 p.41-44</p>
<p>第四号</p> <p>生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。</p>	<p>人権や環境・エネルギー、防災などの現代社会の課題解決に向けた取り組みを豊富に掲載し、持続可能な開発目標(SDGs)を意識した態度を育成</p> <p>●「未来に向けて」のコラムを31か所、特設ページを9か所設けている。脱炭素社会の実現への取り組みや自然災害への対策など、“持続可能な開発目標(SDGs)”に関わる題材を豊富に掲載することで、持続可能な社会の形成に向けて主体的に取り組む態度を育成できるようにしている。(p.75、156、171など全40か所)</p> <p>●第4部第1章「地域のあり方」では、これまでの学習で得た知識・技能をもとに「地理的な見方・考え方」を働かせて、持続可能な社会のあり方を構想できるようにしている。(p.283-293)</p>	<p>おもに 特色4 p.41-44</p>
<p>第五号</p> <p>伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<p>地誌的な内容を充実させ、正しい異文化理解・国土理解を通じて国際社会の平和と発展に向けた態度を育成</p> <p>●第2部第2章「世界の諸地域」および第3部第3章「日本の諸地域」の内容を充実させている。自然環境、生活・文化、産業をバランスよく扱うことで、適切な異文化理解と正しい国土理解を促せるようにしている。(「世界の諸地域」：p.45-127/「日本の諸地域」：p.166-282)</p> <p>●第1部第2章「3日本の領域とその特徴」では、日本の立場が国際法に則っていることを丁寧に解説したり、北方領土周辺の国境の移り変わりを地図で示したりすることで、正しい国土理解を促せるようにしている。(p.18-21)</p> <p>●「未来に向けて」では、アイヌ民族の文化や、平和記念都市である広島市などの題材も掲載し、伝統・文化の尊重を促し、国際社会の平和と安全を重んじる態度を育成できるようにしている。(p.280、189)</p>	<p>おもに 特色2 p.13-28 特色4 p.41-44</p>